

2017年12月期 第2四半期 決算 Q&A資料



CNC超小型立形研削盤
USG-3

株式会社 太陽工機

【目次】

Q:2017年度上期の営業利益が前期に比べ減少した要因は？	P3
Q:2017年度の通期売上計画を修正した理由は？	P3
Q:2017年度の営業利益予想を修正した理由は？	P4
Q:配当予想を修正した理由は？	P4

Q: 2017年度上期の営業利益(423百万円)が前期に比べ減少した要因は？

A: 2017年度上期売上高は、前年同期と横ばいになりましたが、営業利益は、前年同期比39百万円減少しました。減少した要因は、第1四半期で自動機案件が増加したことによる対応で一時的に原価高(原価率70.7%)となったことです。

しかしながら、第2四半期では、売上増加による利益金額の増加と自動機の原価低減効果により原価率(69.9%)が改善し、営業利益は240百万円(営業利益率13.3%)となり、前年同期比86.0%増加し、当初計画比も2.4%増加しました。第3四半期以降も、引き続き売上増加と自動機の原価低減により、収益性の増加が期待できます。

(※自動機: ロボット、搬送ユニット等を付加した自動・無人運転可能な機械)

Q: 2017年度の通期売上計画を修正した理由は？

A: 2017年度の下期売上計画を当初計画(36億円)より222百万円増額し、38億円(月平均637百万円)とし、通期売上を72億円に上方修正しております。

上方修正した理由は、今期に入り受注が好調に推移し、第2四半期では、自動車・産業機械関連企業向けの大口径案件の受注を獲得したことにより、過去最高の受注高となったことによるものです。

2017年第3四半期以降も、当社の強みである技術提案力により、引き続き受注は堅調に推移する見込みです。

Q: 2017年度の通期営業利益予想を修正した理由は？

A: 下期の営業利益予想を当初予想(470百万円)より、67百万円増額し、537百万円(営業利益率14.1%)とし、通期の営業利益は960百万円(営業利益率13.3%)を見込んでおります。

営業利益を修正した主な理由は2つあります。① 売上増による利益金額の増加と固定費の吸収による利益率の改善によるもの、② 売上機全体の40%弱を占める自動機の原価低減に一定の成果を上げたことによるものです。

尚、原価低減の効果は、自動機に対する社内のノウハウの標準化、習熟により、生産効率を向上させたことによるものです。

Q: 配当予想を修正した理由は？

A: 業績の上方修正に伴い、配当性向が20%を下回ることになるため、配当計画の見直しを行った結果、期末配当金を1株あたり40円から30円増やし、70円の配当に増額いたします。

配当金額の決定に当たっては、配当性向30%を目標とし、それに沿って配当政策を決定してまいります。

(※なお、本件につきましては、平成30年3月開催予定の定時株主総会に付議する予定です。)

お取り扱い上のご注意

本資料は、当社をご理解いただくために作成したのもので、当社へ対する投資の勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。

お問い合わせ先 株式会社太陽工機 管理部

TEL :0258-42-8808

URL :<http://www.taiyokoki.com>